



事業者行動計画書 (変更計画書)

2021年8月16日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所 (法人にあつては、主たる事務所の所在地)
大阪府大阪市北区中津 1-5-22

氏名 (法人にあつては、名称および代表者の氏名)
マルホ株式会社 代表取締役社長 杉田 淳
(代理人) 彦根工場長 村居 哲博

滋賀県低炭素社会づくりの推進に関する条例 [第20条第3項・第20条第4項
第22条第1項・第22条第2項において準用する同条例第20条第4
項] の規定に基づき、事業者行動計画を策定 (変更) したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあつては、 名称および代表者の氏名)	マルホ株式会社 代表取締役社長 杉田 淳
事業者の住所 (法人にあつては、 主たる事務所の所在地)	大阪府大阪市北区中津 1-5-22

1 事業所の概要

事業所の名称	マルホ株式会社 彦根工場		
事業所の所在地	彦根市高宮町 2763		
主たる事業	細分類番号	1	6 5 2 医薬品製剤製造業
該当する事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 従業員数が21人以上であつて、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間 3,000 トン以上の事業所を県内に有する事業者		
	<input type="checkbox"/> 任意提出事業者		

2 計画の内容

計画の内容	別添のとおり
-------	--------

注 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とします。

1 計画期間

計画期間	2021（令和3年）年度～ 2025（令和7）年度
------	---------------------------

2 低炭素社会づくりに係る取組に関する基本的な方針

■基本理念

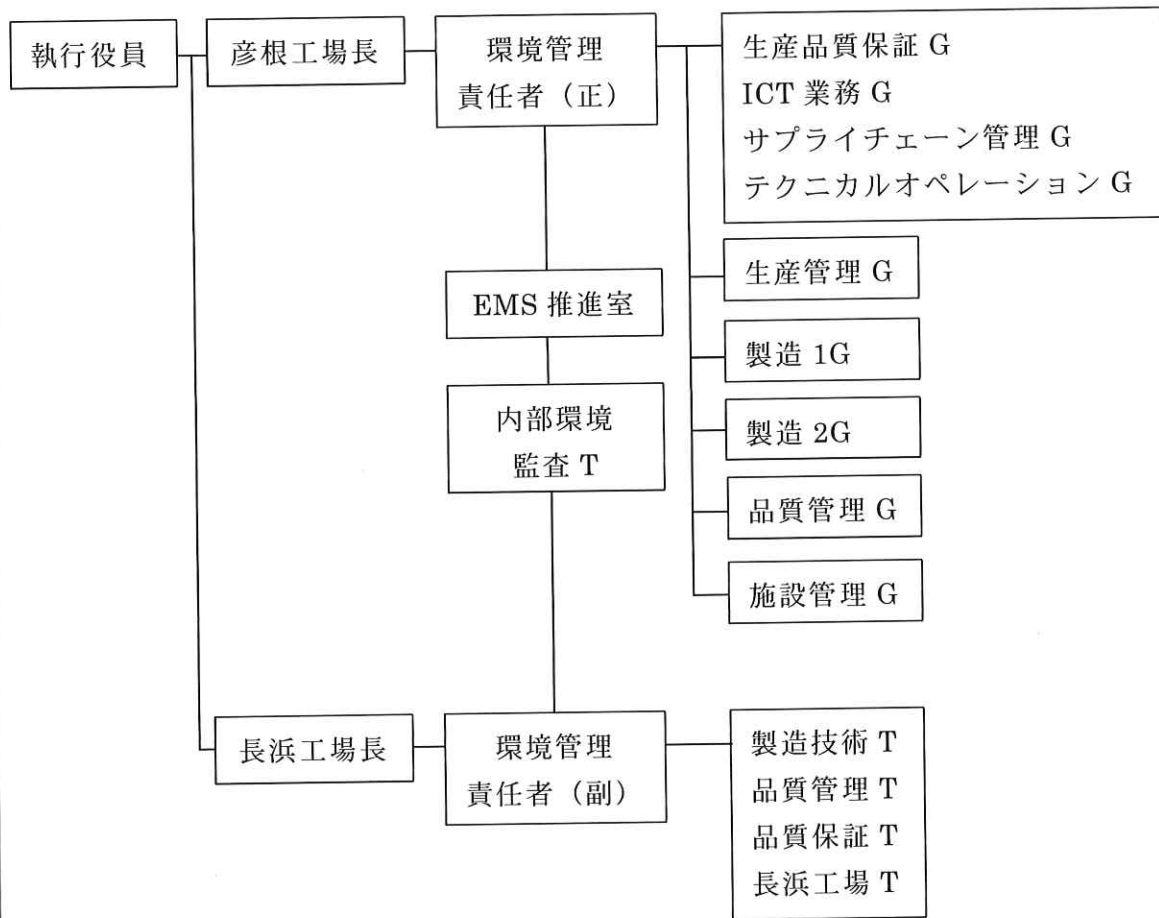
私たちは、医薬品という声明関連商品を扱う制約企業として、安全衛生に配慮した企業活動を推進します。私たちは全員参加で事業活動のすべての領域において、無事故で元気に働く喜びを感じることのできる職場づくりと、地域社会の安全確保に努め行動します。

■環境方針

- 1) 環境関連の法規制及びサイトが認めるその他の要求事項を遵守します。
- 2) 汚染の予防を含む地球環境保護に配慮した企業活動を推進します。
- 3) 事業活動の性質、規模及び環境影響に対して適切な環境マネジメントシステムを構築し、継続的な改善を行います。
- 4) この環境方針達成のため、サイト及び部門毎に環境目標を設定し、全従業員をあげて環境マネジメントを推進します。また環境目標を定期的に見直し、必要に応じて改定を行います。

3 低炭素社会づくりに係る取組に関する推進体制

彦根・長浜工場 EMS 体制
 (G: グループ、T: チーム)



備考 組織図を記載し、役割分担および責任者の役職を記入してください。

(第2面)

4 これまでに取り組んできた低炭素社会づくりに係る取組

<運用システム>

- 環境マネジメントシステム（2015 規格改正）
- 全社省エネ推進会議

<設備導入>

- 高効率の設備導入
 - ・電気式冷凍機（空冷モジュールチラー導入）
 - ・コンプレッサー（インバータ）
 - ・空調機（インバータ・ファン）
 - ・LED 照明
- ボイラ燃料のガス化
- 蒸気ドレン排熱回収装置
- 蒸気配管トラップ保全
- 照明人感センサー

<運用改善>

- 空調設備の省エネ運転
- ボイラクラウド化によるエネルギー管理

(第3面)

5 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	取組の内容	実施スケジュール
1	設備導入及び運用対策	リスク評価を行い、設備導入・更新・保全を行う。	計画期間
2	設備導入	貫流ボイラ更新（省エネタイプ）	2023年完了予定
3	設備導入	特高トランス更新（トップランナー変圧器の採用）	2023年完了予定
4	設備導入	3棟リニューアル工事（設備機器の省エネタイプ）	2023年完了予定
5	設備導入	3棟冷凍機更新（省エネタイプ）	2024年完了予定
6	設備導入	照明設備LED更新	計画期間
7	運用見直し	空調設備の省エネ運転スケジュール検討	計画期間
8			

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	取組の内容	実施スケジュール
1	フロン類	フロン排出抑制法に係わる簡易・定期点検	計画期間
2			
3			

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標設定の考え方

●エネルギー原単位を5年平均1%低減する。

原単位＝エネルギー使用量／製品出荷量

- ・ QRM（リスクアセスメント）により、空調設備の機能や運転方法等の見直しを図る。
- ・ 生産残業や休日出勤による空調設備運転の細かなスケジュール設定。
- ・ 設備導入案件について、省エネに有効な機種や運用を検討し、実行する。

(第5面)

7 その他の低炭素社会づくりに向けた取組

	取組項目	取組の内容および当該取組により達成しようとする目標	実施スケジュール
1	3Rの推進	廃棄物の分別、再利用化を促進する。	EMS活動継続
2	地域社会の環境保全活動	地域社会の環境保全活動に積極的に参加する。 (クリーンキャンペーン)	9回/年予定
3			
4			
5			
6			
7			
8			